バルカーテクノロジーニュース冬号発刊にあたって

謹んで令和3年新春のお慶びを申し上げます。
皆さまには日頃からValqua Technology Newsをご愛読いただき、心より感謝申し上げます。

2020年の初頭より、全世界を取り巻くビジネス環境は、新型コロナウィルスの感染拡大によって大きな変化を遂げることとなりました。特に、ソーシャルディスタンシングを重視することにより、リモートワークあるいは省人化された事業活動を行うために ICT関連技術などの開発や導入が促進されました。しかしながら、振り返ってみれば、この方向性は従来からも効率向上の視点から様々な検討がなされて来ており、コロナの問題が解決した状況にいたっても本来的にその価値が失われることはなく、現在起きている変化は不可逆的な動きと見るべきで、今後も継続していくと考えられます。

ここで私たちが経験する環境の大きな変化は、将来のビジネスに対する思考や行動計画にも影響を与え、更なる業務の省人化や効率化に対する要求が高まることが想定されます。そして、そのような要求に応えていくためには、当社としては単なるハード商品を市場へ提供する事業モデルから脱却し、顧客の皆さまの“コトづくり”に寄与することが出来るサービスの提供に努めるビジネスモデルへと変遷することが非常に重要であるという認識をより一層強めております。

このような事業要求に応えるべく、当社の技術開発に関連する全ての部門では、前々回の中期計画から推進しております H&S（ハード&サービス）企業への変革、特にS（サービス）の視点から付加価値の高い技術ソリューションを開発する活動へ更なる注力をしてまいります。 具体的には、当期より開始をいたしました3か年中期経営計画“New Frontier 2022”（NF2022）で掲げております「研究開発への経営資源の更なる投入」、「オープンイノベーションを活用した開発プロセスの加速」、「次世代の研究開発インフラの整備」、これら3つの戦略を軸に H&S視点からのコア事業の強化ならびに新事業領域への意欲的な拡大を推進し、NF2022で掲げた成長目標、更には2027年に迎える創業100周年に向けて、「未来と未知に挑むチャレンジングな企業」を目指して邁進してまいります。

以上のような背景の下、今号のテクノロジーニュースでは顧客の皆さまに執筆をご協力いただきましたフランジ締結に関する取り組み、外部技術を活用した技術開発、H&S関連の商品や当社製品の紹介及び適用事例の記事を掲載しております。顧客の皆さまの生産現場における安全安心を提供出来るよう、当社のみならず顧客の皆さまと一丸となって技術開発を行ってまいる決意です。当社のコアコンピタンスであるシールエンジニアリングをコアとして、その領域だけには留まらずDXと関連づけられた市場のニーズを意識したソリューション開発へつながるR&Dの事例としてご一読いただけますようお願い申し上げます。

今後とも、当社製品・サービスともども、バルカーテクノロジーニュースを引き続きご愛顧いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

取締役CTO　**青木　睦郎**